

一般社団法人栃木県バスケットボール協会  
平成 28 年度 第 4 回理事会 議事録

日時：平成 28 年 12 月 20 日（火） 18：30～

会場：文星芸術大学附属高校研修室

出席：〔理事〕 22 名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、鈴木克美、直井秀之  
高橋哲夫、福田悦男、渡辺諭、前原延之、北条和寿、小林史雄、中村剛久  
横澤隆一、新村雅司、石渡光平、福田憲司、山田将樹、矢野まなみ、佐々木清美  
塚原弘江

欠席：〔理事〕 5 名 杉森豪、佐藤智信、別井明彦、日向野信行、古谷常夫、  
〔監事〕 2 名 井上尉央、荻美紀

## 1 あいさつ

阿部会長：忙しい師走の中お集まりいただき感謝する。今年最後の審議をお願いしたい。

## 2 報告事項

- (1) 白鷗大学インカレ報告：男子 3 位、女子優勝 (遠藤専務理事)
- (2) クラブ連：○県クラブ選手権の結果は、男子はベスト 4 によるリーグ戦の結果白鷗大学 B が優勝、女子は、T B C が優勝した。  
○関東総合へは、男子鑿阿、女子 T B C が出場したが一回戦で敗退した。
- (3) 3×3：○OPEN 男子は U I S、OPEN 女子も U I S、U-18 は男子が小山南、女子は宇中女が優勝した。
- (4) ミニ連：○関東ミニバスケット大会が 1 月 7 日（土）～9 日（月）の日程で鹿沼フォレストアリーナ、ブレックスアリーナで行われる。（組み合わせはホームページ参照）
- (5) 高体連：○新人大会が、1 月 14 日（土）・15 日（日）・21 日（土）・22 日（日）の日程で開催される。（組み合わせはホームページ参照）
- (6) 競技部：○3×3 関係は、クラブ連で実施していたが、来年度は、JBA の関係で OPEN の部の開催と U-18 の開催日が異なり、県の選手権も OPEN と U-18 を同日に開催できない。  
○U-18 については、10 月までに開催しなければならないが、クラブ連の大会と重なっており、クラブ連では開催できない。  
○3×3 の普及を考えると U-15・U-12 の普及が大切である。そのために、3×3 組織委員会を立ち上げたい。（次回理事会で審議）
- (7) 強化部：○部会を開いた報告
  - 平成 28 年度の国体の成果と課題
    - ・少年種別について 2019 茨城国体を見据えて U-16 のスタッフを固定化していく。
    - ・年間を通して強化していく。
    - ・成年種別については、白鷗大学との連携を図る。
  - 県外流失に歯止めをかけるには。
    - ・公立高校の拠点化、外国人留学生、クラブチームとの関係

●選考委員を次回の理事会で審議願う。

(8) ブレックス：○レギュラーシーズン順位東地区2位となった。

○日本男子代表候補の重点強化選手に7名が選出された。

○網野友雄アンバサダーが来年度より、白鷗大学の准教授に就任する。

○ブレックスカップ2017の大会記念ウェアのデザインができた。

(9) その他の報告

ア 北関東三県(茨城、群馬、栃木)会長会議の報告

○U-16の強化策として、北関東チャンピオンリーグの中にU-15の部を作ることを検討。

○三県でU-16の強化について協力体制を作っていく。

イ 社会人カテゴリー改編に関する説明会報告。

○2017年2月に全国社会人連盟を設立する。

○県協会内に社会人連盟設立部会を作り、2017年12月までに県社会人連盟を設立し、2018年4月から活動していく。

○家庭婦人を考えて、登録区分にオープンのほかにもエンジョイの部を考えた。

ウ 第2回都道府県協会連絡会の報告

○2018年度以降の新登録制度体系の骨子について

①登録料設定・徴収権限をJBAと都道府県協会に集約し一元化する。

②JBAの登録料は現行の2倍、都道府県協会の登録料はJBAの50%を上限とする。

③D-ファンド(仮称)制度を施行し、都道府県協会の普及事業をサポートする。

④各種連盟会計の一元化、JBAは、全国連盟・各ブロック連盟を、都道府県協会は各県連盟の競技会に関する活動の一部を予算化し会計を一元化する。

○新登録制度体系に伴い、各県とも財政改善・安定策の検討をする。

○新登録制度体系に関する今後のスケジュール

・2017年7月に手続等の説明会を開催、8月に対象事業等の内示、10月31日を申請書の締め切りとする。

・12月中に内容を審査し、各県への候金額を決定する。

・2018年4月から新制度体系を導入しファンドを交付する。

○国内バスケットボール団体の位置づけ・役割を明確化する。

・各連と覚書を交わしていく。

エ スポーツ振興助成事業(toto)に関する説明会の報告

○平成29年度の対象となる団体は、平成28年4月1日以前に法人化した団体となっているため、県協会は対象とならない。

○申請するには、財務会計処理が適正に行われる必要があり、現時点で申請しても混乱を招くので、県の会計処理が円滑に処理されるようになってからの申請の方がよい。

### 3 定足数について

○定款第47条により、理事総数27名うち出席理事22名、過半数以上の出席により定足数を満たし本理事会は成立。

#### 4 議事録署名人の選出について

阿部会長：中体連の 前原延之 氏 と 北條和寿 氏 にお願ひする。

#### 5 審議事項（議長：阿部会長）

##### (1) ジュニアオールスターの選手選考について（前原中体連）

- 男子が 11 月 26 日(土)、女子が 11 月 27 日(日)に選考会を実施した。ジュニア育成プロジェクトの委員も参加して行った。
- 男女ともに即戦力として 1 年生を 1 名入れている。
- ほとんどの選手は昨年の U-13 に選出された選手の中から選ばれているが、それ以外として男子で 3 名、女子で 1 名が頭角を現し選出されている。
- 賛成者多数によりジュニアオールスターの選手 24 名が承認される。

##### (2) 平成 29 年度天皇杯第 3 次ラウンドの開催について（遠藤専務理事）

- 第 3 次ラウンドより男子の B1、女子の Wリーグ 1 部が参加してくる。
- また、主管については Bリーグのクラブでもよい。ただし申請については県協会となる。
- 県協会としては開催する意向はないが、ブレックスの方では開催の意向がある。
- 来年の 11/25・26 に県北体育館での開催となる。協会としては、ブレックスを支援するというこ  
とで開催を承認したい。
- 賛成者多数により、第 3 次ラウンドの開催について承認される。

##### (3) 事務局移転について（遠藤専務理事）

- 今の事務所よりも 4 倍くらい広くなり、駐車場も 3 台分確保出ている。
- 家賃は今まで 3 万円だったのが、6 万 5 千円と格安である。
- 1 月 1 日契約ということであるが、12 月中に引っ越しが完了する。事後承諾となるが承認願いた  
い。
- 賛成者多数により事務局移転について承認される。

##### (4) その他(なし)

#### 6 その他

##### (1) 新年会の参加について（遠藤専務理事）

- インカレで白鷗大女子が優勝、男子が 3 位という素晴らしい成績を収めた。新年会で盛大に  
お祝いしたいので各連盟とも多数参加してほしい。

#### 7 あいさつ

片桐副会長：長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。